

仙台国際ハーフマラソン 2021年大会の開催について

2020年4月に第30回大会の中止を決定して以降、大会実行委員会では、感染状況や社会経済活動の動向を注視しながら、次回大会を開催できるかどうかについて、慎重に議論を重ねて参りました。また、6月に日本陸上競技連盟から「ロードレース再開についてのガイダンス」が発表されたことを受け、大会の開催に向け、関係する皆様が安全に参加できるよう、感染症と向き合いながら対策を検討して参りました。

こうした検討を重ねた結果、感染症対策を徹底しながら大会を開催することが、ランナーの皆様からのご期待に応えること、そしてより早く本来の1万人規模の大会の再開につながるとの考えに至り、来る2021年5月、仙台国際ハーフマラソン大会を「新しい様式」により開催することといたしました。

開催にあたっては、県民・市民の皆様にご理解いただくとともに、参加者・関係者の皆様の安全を第一に考え、定員の大幅な削減、関連イベントの一部中止など、大会規模を大幅に縮小いたします。

従来とは大きく様式が変更となることから、ランナーの皆様のご期待に沿えない部分もあるかと思いますが、一日も早くまた当たり前になれる日常が戻ることを願い、前例のないコロナ禍での大会成功に向けて全力で取り組んで参りますので、ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

開催判断の理由

●市内におけるイベントの開催状況

第38回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(10/25)・第40回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会(11/22)の開催、また楽天イーグルス・ベガルタ仙台・仙台89ERSの有観客試合等の開催等、2020年7月以降、市内では順次スポーツイベントを再開し、感染症対策の知見を深めてきました。

●他大会の開催状況

2021年2月以降、各地でマラソン大会が開催に向け動いているなど、全国的にも大会再開の機運が少しずつ高まってきております。

●感染拡大防止と社会経済活動の両立

仙台市では、「感染症に強いまちづくり」を目指し、感染拡大防止と社会経済活動の両立の実現に向けた事業に取り組んでおり、本大会も社会経済活動の一つとして、大会を開催することで地域にも元気を届けたいと考えております。



これらの経過等を総合的に判断し、感染症対策を徹底したうえで本大会を「開催」します

大会概要

(1) 大会の位置づけと名称

今大会は、様式が通常とは大きく異なることから、「**仙台国際ハーフマラソン大会 2021 チャレンジレース**」に大会名を変更して開催いたします。

「チャレンジ」の意味

参加者／全国的に大会中止が続く中、日頃の練習の成果を発揮する“チャレンジ”

主催者／前例のない困難な状況の中、感染対策を徹底し、ニューノーマルな大会を成功させる“チャレンジ”

仙台市／感染拡大防止と社会経済活動の両立の実現に向けた「感染症に強いまちづくり」への“チャレンジ”

(2) 開催種目

大会メイン種目の「ハーフマラソン」に競技を限定し、5 km の部・2km の部は開催見合わせとします。

(3) 参加人数の制限

会場内や競技時での密集を防止するため、参加者数の定員を約 4,000 名といたします。また、参加者は全国から募集し、国内在住者に限定します。

(4) 式典・サブイベント等の中止

大会に関係する式典をはじめ、市民広場の前日祭・当日祭、楽天生命パーク宮城内の飲食を伴う出店ブース、沿道応援等は、開催いたしません。

(5) 参加料の値上げ

定員の削減の影響や、新たに感染症対策を実施するため、参加料を値上げし、ハーフマラソン 一般の部は 12,000 円、車いすの部は 11,000 円とさせていただきます。ご理解いただきますようお願いいたします。

(6) 優先出走権の取り扱い

第 30 回大会(本年 5 月 10 日)の中止に伴う出走権につきましては、今大会は従来からの大会から規模を大きく縮小するため、優先出走権の対象外とさせていただきます。2022 年大会以降に改めてご案内をさせていただきます。楽しみしていただいた方には大変申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(7) 募集期間・方法について

参加者の募集期間は、2021 年 1 月 7 日(木)午前 9 時～1月 18 日(月)となります。申込方法は、感染リスク等の理由からインターネットに限定します。郵便での申し込み受付を実施いたしませんので、ご注意ください。また、定員が 4,000 名に減少になることから「抽選」といたします。

大会コンセプト

RUN again

～未来に走り出すファーストステップ～

① 未来へ進む「仙台の挑戦」

震災から 10 年。復興への感謝を胸に、再び訪れた困難と向き合い、対策を徹底したニューノーマルな大会を、全国に先駆け「仙台」が挑戦します。

② 仙台・東北の経済再生のために

大会の開催を通じて、仙台・東北のイベント再開の道筋を作り、仙台・東北の経済再生につなげます。

③ 仙台の街へ活力を

待ち望む市民ランナーへまた走れる喜びを届け、トップアスリートの走りで仙台の街へ元気と感動を届けます。